

つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」

かけがえのない
「今」を感じてほしい



推薦者
よしえ
厨子 福恵さん(加茂町中原)

ゆみこの「ひとつだけちようだい」という言葉から始まる『一つの花』は、わたしが小学4年生の時、国語の教科書に載っていたお話です。戦争が激しくなり、食べるものも十分でなかった時代。もっとちようだい、たくさんちようだいではなく「ひとつだけちようだい」がゆみこの口癖となっていました。おにぎりが欲しくて「ひとつだけちようだい」と泣くゆみこに、戦争へ向かうお父さんは一輪のコスモスの花を渡します。

何でも欲しいものが手に入る平和な今。子どもたちに感じてほしいことがこのお話には

あります。最後の場面でゆみこの家の前に広がる一面のコスモスは「平和」を象徴しているように思います。そこには、ゆみこの願い、お父さんの願いが込められています。

子どもの時から大好きな作品でしたが、大人になってから読み返すと、また違った感じを受けます。わたし自身、詩集を出版するなどの活動を続けていく中で、本のすばらしさを子どもたちへ伝えていけたらと思っています。



「一つの花」
今西祐行・作
伊勢英子・絵
(ポプラ社)

※9ページの特集内でも紹介しています



最近、車の運転マナーの悪さに腹が立っています！
・方向指示器の合図を出さずに曲がる
・信号が黄色から赤に変わった時、明らかに赤になっっているのに無視
・側道や店舗駐車場から我先に飛び出してくる
・トンネルでの無灯火 など
とっても怖いですよ!! 事故は起きてからでは遅いのです。(沼・女性)



問い合わせ先 環境生活課
☎32・2056

市では、県が行う全国交通安全運動などのほか、子どもたちなどを対象とした交通安全教室を開催しています(11ページを参照)。一人ひとりの子どもたちが、将来の良き交通社会人として、交通マナーをきちんと守るドライバーになるよう、交通ルールや交通マナーを守ることの大切さを教えています。
また、警察とも連携し、市民の交通マナーの向上に努め、安全な交通社会の形成に向けた交通安全の輪を広げていきたいと思っています。
市民の皆さんにも交通安全に対するご理解とご協力をいただき、市民一人ひとりが交通安全に自覚と責任を持ち、交通ルールと交通マナーを守った行動を実践していただくようお願いいたします。

きらめく津山人

地元を誇りを持って、絆を深めたい

大谷町内会 青壮年会 会長



庄司 直正さん(大谷)

大谷の石山・八畳岩に季節折々のイルミネーションを設置し、市民の目を楽しませている大谷町内会青壮年会。会長の庄司さんに地域づくりについて伺いました。

イルミネーションを始めたきっかけは？

平成6年、青壮年会のメンバーから「津山の活性化のためにイルミネーションをしてはどうか？」という話を持ち上がりました。設置場所を探そううちに「町内にある津山城の石切場であった八畳岩にしよう」ということになりました。

苦労したことやうれしかったことは？

当時八畳岩付近は樹木が生い茂り、今のように岩が露出している状態ではありませんでした。その年の10、11月の毎週日曜日にメンバーや関係者が集まり、樹木伐採や環境整備、電気の配線などを行いました。みんなかかりつきりになったので、家族にはだいたい迷惑を掛けました(笑)。また、電球などの費用も町内の皆さんに協力してもらいました。とても感謝しています。最初は12月にクリスマスツリーのイルミネーションを設置しました。するとある病院の小児科に入院している子どもの家族から「子どもたちがとても喜んでいいます。ありがとうございます」と言われ、驚きました。でもうれしかったですね。

長く続けていけるのは？

無理をしないということだと思います。身の丈にあった活動



▲今年も石山・八畳岩に浮かび上がる剣大

ばいばいと思います。

地域づくりの秘訣は？
自分が住んでいる町をよく知り、誇りと愛着を持つことが大切だと思います。それぞれの町にはそれぞれの良いところがあります。それを見つけて地域づくりに活かすことができればいいですね。そして地域や町内会で人の絆が深まってい

イルミネーションの設置を終え、お疲れのところを笑顔で答えていただきました。春は桜、夏は剣大、冬はクリスマスツリーと、これからも市民の癒やしとなるように長く続けてもらいたいですね。

画家 植月 正紀さん(一方) スペイン顕彰賞受賞

今年3月にスペインにある芸術家審査機関・AMSC(アートメゾン美術評論家選考委員会)が選出する最も評価すべき芸術家の一人として、画家・植月正紀さんが「スペイン顕彰賞」を受賞しました。



植月さんは昭和39年の国展入選を皮切りに6回入選するなど、中央画壇で活躍。昭和48年には国展審査員に選出され現在に至っています。また、イタリア・ローマグレゴリアン大学名誉作家やキューバ芸術文化名誉大使に認定されるなど、海外からの評価も高く「荣誉ある賞をいただきうれしく思っています。ますます自己の作品を発展させていきたい」と今後の制作にも意欲をみせていました。